

同志社大学

2009年度 個人研究費研究経過・成果報告書

2010年 3月 15日提出

所 属	職 名	氏 名
文学部	准教授	金谷 益道
研 究 題 目	19・20世紀英米小説家の創作理念史研究	
研 究 成 果 の 概 要	<p>小説を創作する際の作家の理念を過去数年間主な研究対象としてきたが、今年度は19世紀後半から20世紀初頭にかけて活躍した英米の作家、中でも特に Thomas Hardy を中心に研究を進めた。論文「モダニズム作家としてのトマス・ハーディ」(『ハーディ研究』No. 35、日本ハーディ協会より 2009年10月刊行)では、ハーディをヴァージニア・ウルフを頂点とするモダニズム作家の一派と関連付けたり、安易に「アンチ・リアリスト」と位置づけられがちなハーディの創作理念には、実はリアリストたちの理念との近似性が見られる、といったことを論じた。また、『日本ハーディ協会ニュース』第66号(2009年9月発行)において、「大学教育と“The Profitable Reading of Fiction”」という小論文を発表した。また、日本ハーディ協会第52回大会(立教大学)において、「“A Faithful Artist” それとも “an Ironist”? : ハーディとポストモダニズム」という題で口頭発表を行った。</p>	